it-Concrete 標準オプション

トレミー管打設管理機能



it-Concreteで取得した生コン情報を活用し、トレミー管打設管理を効率化

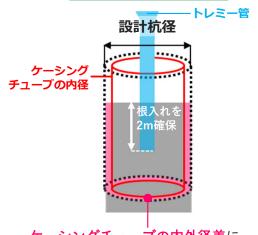
本機能は、場所打ち杭やRC地中連続壁の構築に関する、水中コンクリート打設時のトレミー管の根入れ長管理を効率的に行うことを目的としています。it-Concreteで取得した打込み中のコンクリートの容積と、実測値に基づく杭や連続壁の容積との照査により、コンクリート天端高さのリアルタイムでの自動推定が可能です。加えて、トレミー管・ケーシングの根入れ長や下げ振り錘等の測定値の記録が容易で、記録帳票の自動作成が可能です。本オプション機能の費用はit-Concrete本体の利用料に含まれています。

本機能は以下の 3種類 の工法に対応します。

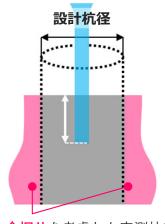
①オールケーシング

②リバース等の場所打ち杭

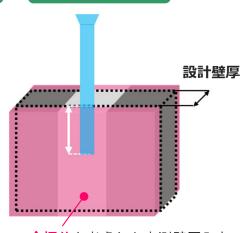
③RC地中連続壁



ケーシングチューブの内外径差による引抜時のコンクリート天端の変化を反映(ケーシング外の余掘りは杭径で補正)



余掘りを考慮した実測杭径入力によるコンクリート体積を計算(超音波測定などで求めた体積でも直接入力・計算可能)



余掘りを考慮した実測壁厚入力によるコンクリート体積を計算 (超音波測定などで求めた体積 でも直接入力・計算可能)

本機能の導入メリット

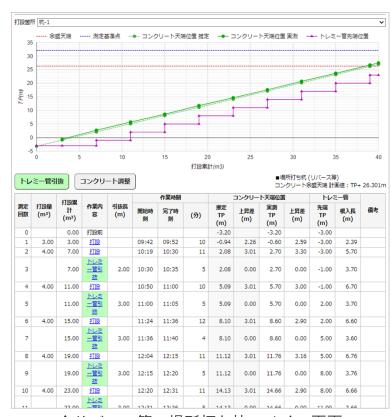
■打設状況の「見える化」

リアルタイムにコンクリート天端の 推定値と下げ振り錘等での実測値が比 較できるため、打設中の段取りが容易 となります。また次回の打設時には、 比較に基づき、余掘りを考慮した杭 径・壁厚を反映し、より精度を上げた 管理が可能となります。

■帳票作成の「効率化」

確実な管理を行うため、コンクリート天端を下げ振り錘等で実測した場合には、容易に記録し、帳票に測量値として反映させることが可能で、帳票作成の生産性が向上します。

帳票テンプレートはit-Concrete打設 状況管理表と同様に、Excelベースで若 干のカスタマイズが可能です。



↑リバース等の場所打ち杭のメイン画面

◆ トレミー管打設画面の操作





it-Concrete 打設状況確認画面から、本機能を利用できます。 事前設定が完了している場合、 生コン車1台目の荷卸開始が登録 されると【荷卸中】の帯に表示 された[トレミー管打設]ボタンを クリックするとメイン画面に移 行します。

◆ トレミー管引抜時の操作



◆ コンクリート調整時の操作



場所打ち杭などの場合には、打設の最後にポンプ車のホッパーや、配管内に残置していた生コンで、調整を行うケースがあります。

事前設定のページでは、1台目の ホッパー内などの生コン残留量を 差し引くことができます。

また、左図のように【コンクリート調整】ボタンをクリックすると、最後に打設した生コンの容積を入力することができます。

問い合わせ先

●販売代理店

日建リース工業(株) 03-3295-9157 日建片桐リース(株) 011-251-6777 タイトレック(株) 092-525-9757

●販売元

成和コンサルタント(株) https://www.seiwac.co.jp/ it-concrete@seiwac.jp